



個人投資家サーベイ

個人投資家の皆様の相場環境に対する意識調査のため、2010年11月19日～11月22日にアンケートを実施しました。ご回答くださった皆様には、ご協力に感謝いたします。誠にありがとうございます。今、個人投資家の皆様が、相場をどのようにとらえているのか、調査結果をまとめました。

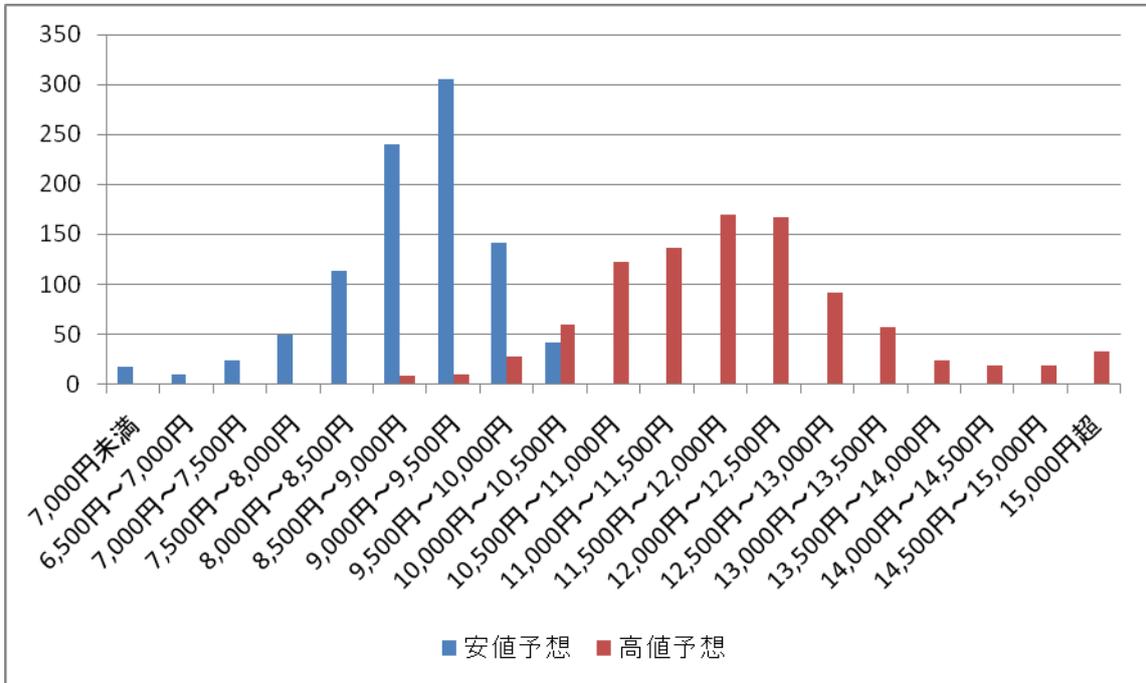
「Monex 個人投資家サーベイ」は、個人投資家の相場環境に対する意識調査として毎月アンケートを行い、その調査結果をまとめたものです。2009年10月に第1回サーベイを行い、月次で公表しております。



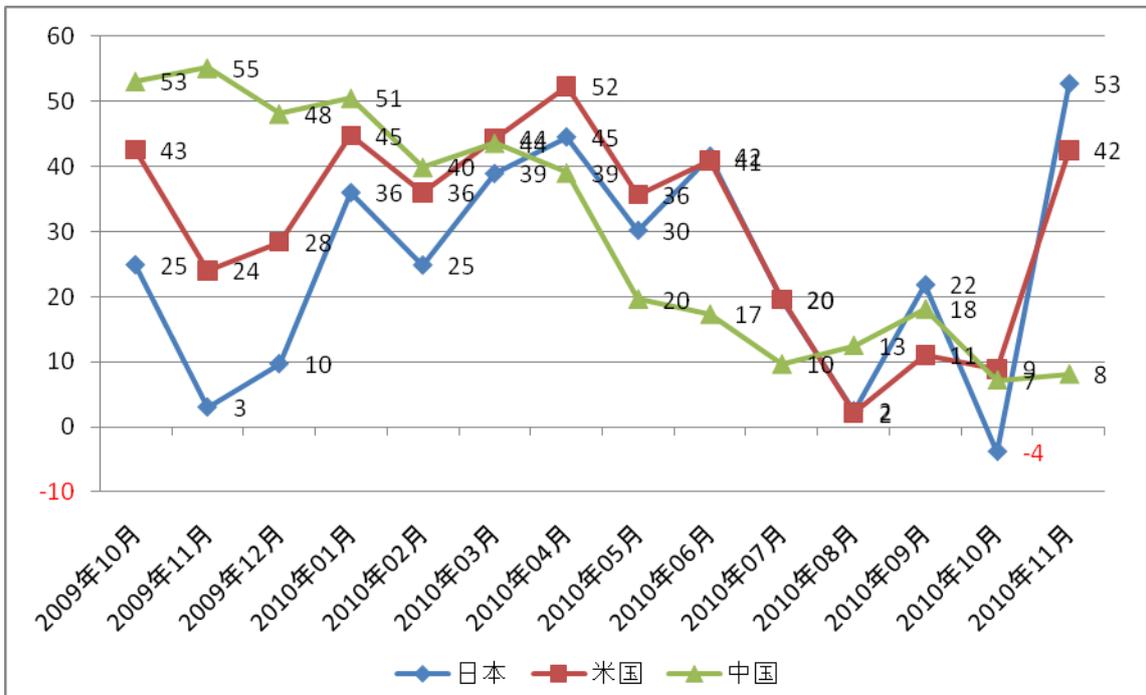
■ 調査結果

1 株式市場を取り巻く環境について

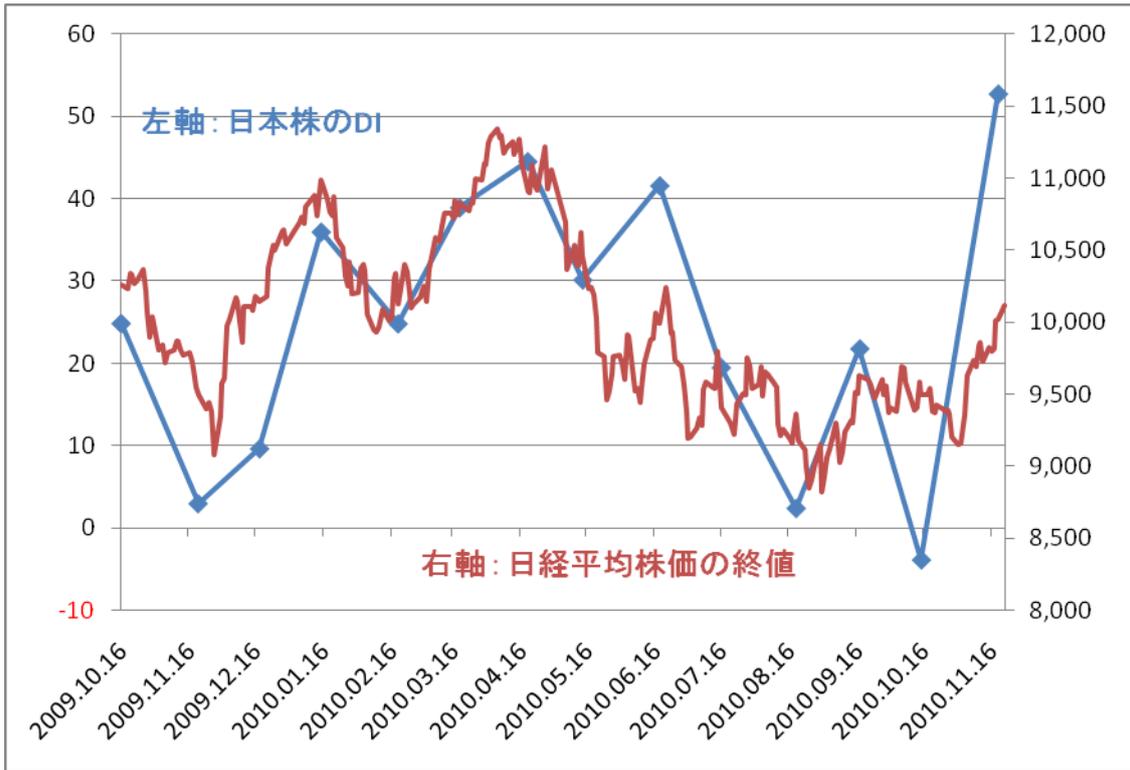
(1) 2011年（卯年）の日経平均株価の高値と安値を予想してください。



(2) 今後3ヶ月程度の株価予想（日本、米国、中国の14ヶ月DI推移）

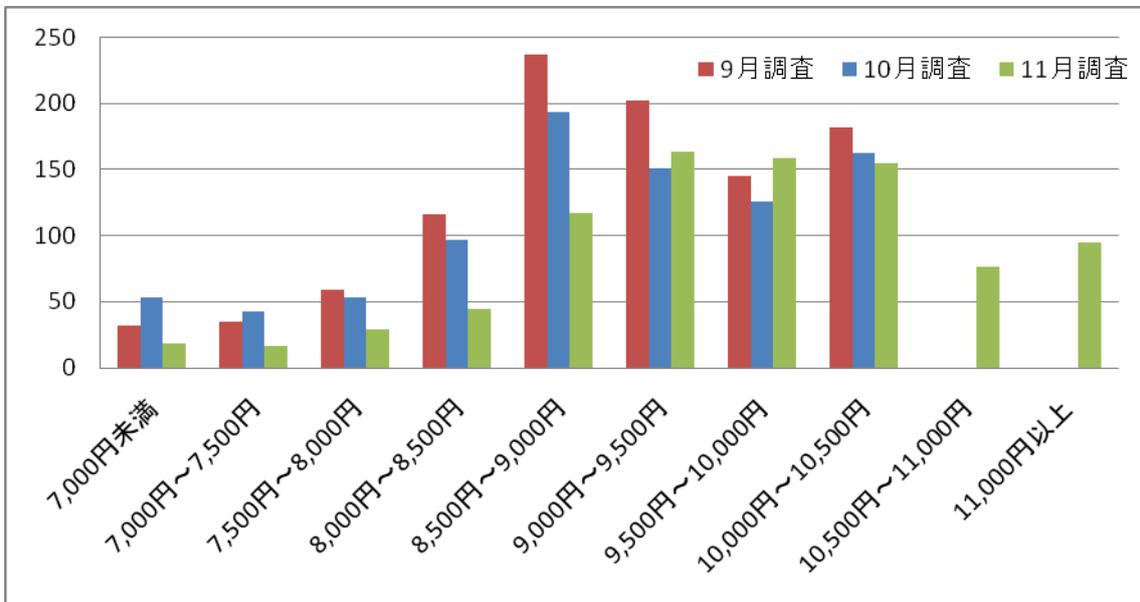


日本と米国の DI (※) が急回復しました。(※DI: 「上昇すると思う」と回答した%から「下落すると思う」と回答した%を引いたポイント)



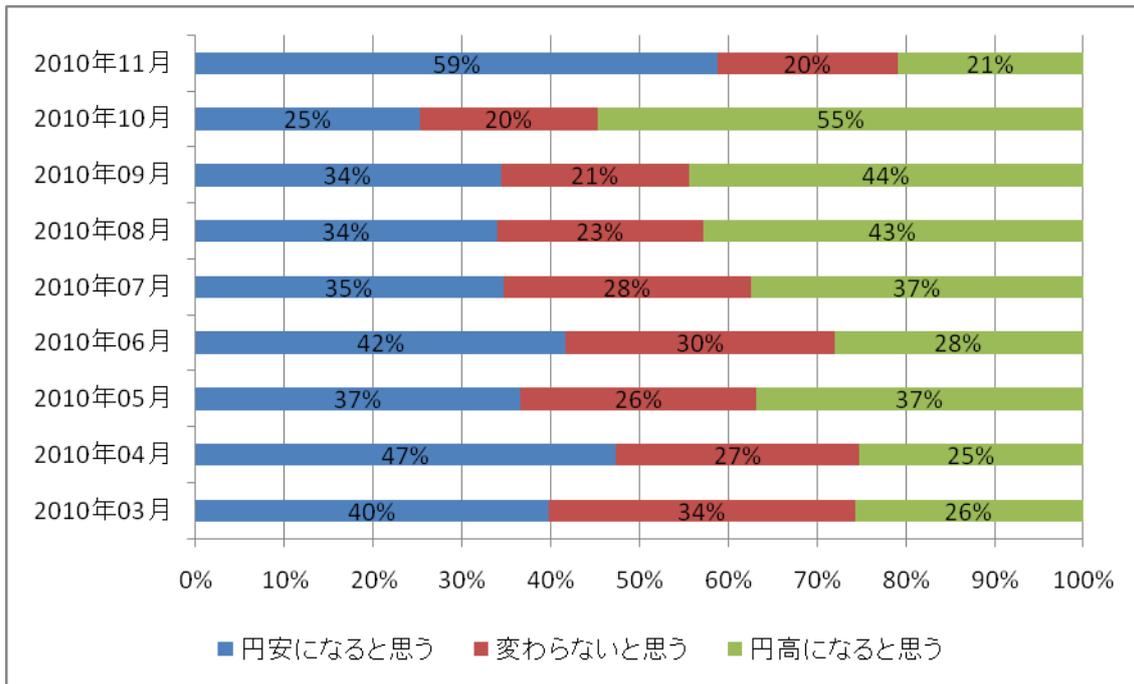
(3) 日本株を買いたい水準

(日経平均株価がどの水準であれば、日本株を買いたいと思いますか?)





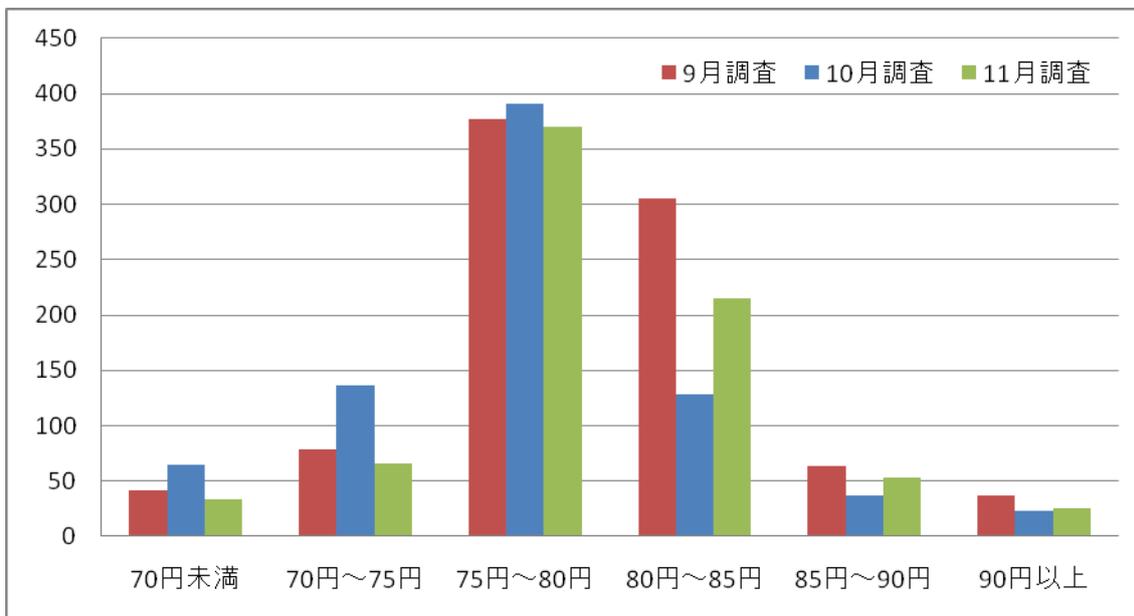
(4) 今後3ヶ月程度の米ドル/円相場予想



先月とは状況が逆転し、6割近くの方が円安を予想しています。

(5) 米ドルを買いたい水準

(ドル円相場がどの水準であれば、米ドルを買いたいと思いますか?)





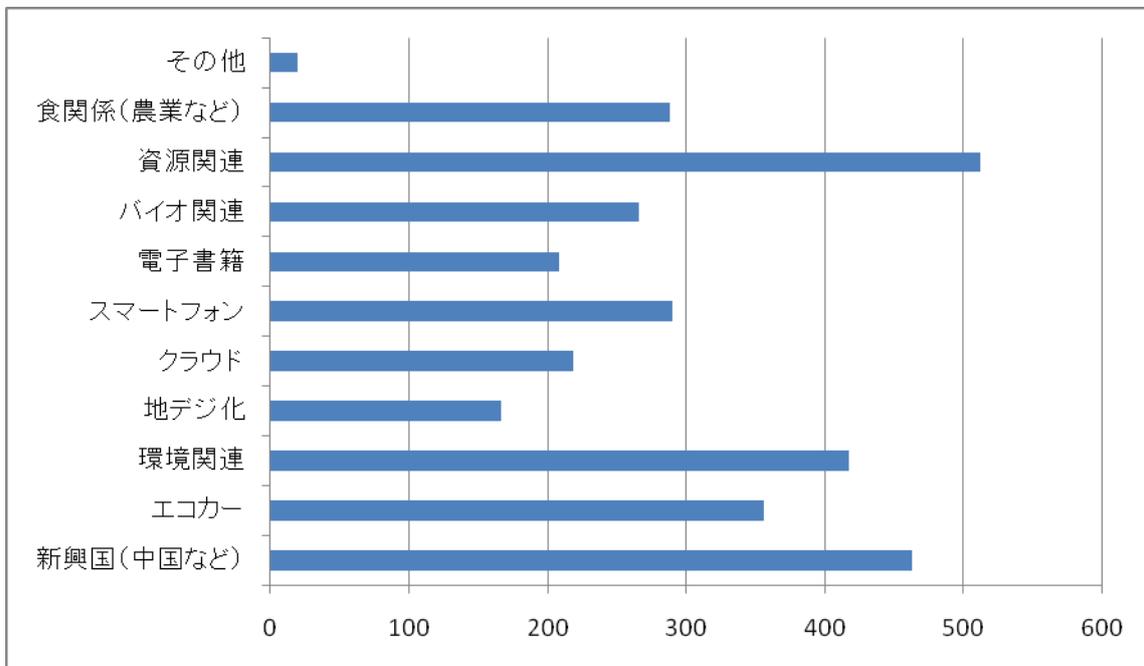
2 日本の株式市場について

(1) 日本市場の各業種に対する今後3ヶ月程度の見通し (魅力的であると思う業種のランキング)

2010年10月	2010年11月
1 医薬品	1 医薬品
2 ハイテク	2 ハイテク
3 商社	3 商社
4 通信	4 通信
5 電力・ガス	5 機械
6 機械	6 自動車
7 自動車	7 電力・ガス
8 不動産	8 銀行
9 非鉄	9 非鉄
10 海運	10 不動産
11 小売	11 鉄鋼
12 銀行	12 海運
13 鉄鋼	13 小売

銀行の順位が先月の12位から今回は8位に浮上しています。

(2) 2011年、注目されると思われるテーマを次の中から選んでください。



中国などの新興国関連、スマートグリッドなどの環境関連、レアメタル・レアアースなどの資源関連などに注目が集まっています。その他には、海外インフラ整備（水道、鉄道、電力）や化学などが挙げられました。



3 お客様の日本株取引について

(1) 今後3ヶ月の投資意欲について



売買頻度のDI (※) は、2009年10月の調査開始以来、最高になりました。(※DI: 売買頻度を増やしたいと回答した%から売買頻度を減らしたいと回答した%を引いたポイント)



■ 総括

今月の個人投資家サーベイは、そろそろ年末も近いということもあり、来年の相場についてもアンケートをお願いしました。1・(1) でずばり、来年の日経平均の高値と安値をお尋ねしました。その結果、高値で多かったのは11,500円～12,000円の価格帯でした。但し、次にお答えが多かった12,000円～12,500円とは僅差であり、高値予想の分布は裾が広がる格好で分散しています。グラフを見るとよく分かりますが、それと対照的に安値の予想では9,000円～9,500円のところに回答が集中しています。これは日経平均のチャートなどで、いわゆる「逆三尊底」の形が形成されたことなどから、底値が明確に意識されていることの表れではないでしょうか。

1・(2) では今後3ヶ月程度の株価予想を尋ねています。「上昇すると思う」と回答した比率から「下落すると思う」と回答した比率をDIとして表していますが、日本株のDIは調査開始以来最高値を記録しました。これも明確に底打ち～反転上昇のトレンドが意識されていることが窺える結果となりました。1・(4) 為替についても先月と一転して、円安予想が6割と増加しました。これも一時の円高が止まり円安基調で推移している為替相場を反映した結果と言えます。

業種については銀行の順位が上がりました。一時は市場心理悪化の代表と見られていたような感のある銀行株ですが、ようやく増資懸念も後退し底入れの兆しが出始めたことが影響しているようです。最後に来年期待したい投資テーマについて尋ねたところ、資源関連や新興国が票を集めました。来年も中国、インド、ブラジルなどの経済情勢と原油や金などの商品市況から目が離せない展開が続くようです。

今回も皆様方のご協力で、大変貴重なデータを作成・分析することができました。本当にありがとうございました。今回のサーベイが個人投資家の皆様方の投資判断の一助となれば幸いです。

(マネックス証券 チーフ・ストラテジスト 広木 隆)



■ 調査の概要と回答者の属性

調査方式： インターネット調査
 調査対象： マネックス証券に口座を保有している個人投資家
 回答数： 942件
 調査期間： 2010年11月19日～11月22日

【性別】

男性	女性
82.6%	17.4%

【年齢】

未成年	20代	30代	40代	50代	60代	70歳超
0.4%	4.9%	25.2%	30.6%	20.0%	14.0%	5.0%

【金融資産】

500万未満	500万 ～1000万	1000万 ～2000万	2000万 ～5000万	5000万 ～1億	1億以上
32.8%	22.2%	20.4%	17.6%	5.4%	1.6%

【売買頻度】

デイトレ	週に数回	月に数回	数ヶ月に1回	それより少ない
5.4%	11.1%	26.1%	34.2%	23.1%

【株式投資のご経験】

1年未満	2年～5年	5年～10年	10年以上
6.1%	31.1%	26.4%	36.4%

本情報は当社が実施したアンケートに基づいて作成したものです。

- ・ 本情報は売買のタイミング等を反映したのではなく、また示唆するものではありません。
- ・ 当社は記載した銘柄の取引を推奨し、勧誘するものではありません。
- ・ 当社は本情報の内容に依拠してお客さまが取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。
- ・ 銘柄選択や売買タイミングなどの投資にかかる最終決定は、お客さまご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。

マネックス証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号
 加入協会：日本証券業協会、（社）金融先物取引業協会